



年 組 名前

道新で
ワークシート

賞状とトロフィーを手に受賞を喜ぶ小樽水産高のメンバー



食べる習慣少ないシイラ使用

地域で課題の魚活用大会

樽水高 魚醬で全国最優秀賞

小樽水産高校の生徒6人が、食用として地元で普及していないシイラを使った魚醬を開発し、11月中旬に東京都内で行われた全国大会で最高位の最優秀賞を受けた。今後は土産物店での販売などを目指し、活動を続けている。

商品開発は、同校の有志が社会課題解決に取り組む課外活動の一環。3年の A さん(17)、2年の B さん(17)、1年の C さん(16)と D さん(16)、E さん(15)、F さん(15)の6人が参加した。

6人は海洋環境の現状を広く伝えようと6月中旬にチームを結成。本来は温暖な海に生息するが、気候の変化で小樽近海でも水揚げ量が増えているシイラに着目した。

シイラは沖縄などでは刺し身として食べられているが道内では食べる習慣が広く根付いてはおらず、市内の市場でも売れ残り、安価で売られている。6人は大きなシイラを骨やうろこ、身まですべて活用し魚醬の材料とした。

製造には市内の水産加工会社「小樽海洋水産」

水産加工会社も協力 市内での販売目指す

や北海道立総合研究機構が協力。生徒たちは下処理から発酵、味の調整、試食まで一貫して体験し、試行錯誤を重ねた。

完成品を、地域で利用に課題がある魚を使った商品を競う高校生の全国大会「LOCAL FISH CAN グランプリ」に出品。11月16日に行われた決勝大会で最優秀賞に選ばれた。無駄が少なく、使用用途が広いことなどが評価されたという。発表を担当した F さんは「まさか1位になれるとは思わず、とてもうれしかった」と話す。

6人は今後、市内の飲食店や土産物店での提供を目指すといい、E さんは「商品を通して、海に起きている変化を多くの人に知ってもらいたい。これからも活動に打ち込む」と意気込んでいる。

(栗栖維意)



道新でワークシート

年 組 名前

- (1) 小樽水産高校の生徒6人が、食用として地元で普及していないシイラを使った理由は何か。
記事の中から読み取って二つ書きましょう。

- (2) 地域で利用に課題がある魚を使った商品を競う高校生の全国大会で最優秀賞に選ばれた理由を、記事の中から読み取って書きましょう。

- (3) この記事に対するあなたの考えをまとめましょう。